



● 館外普及事業
鳥取の美術入門講座
H18 - H28

当館学芸員が学校や地域に出向き、郷土の作家や優れた美術作品を紹介したり、ワークショップ等を行ったりすることとおして、美術にいっそう興味関心を持っていただくきっかけとする。

館外普及事業 「鳥取の美術入門講座」

1 学芸員レクチャー講座	2 学芸員レクチャー講座	3 等身大親子像の制作	4 鳥取のアーティストをご 紹介！ & アートなカル タとりゲームで遊ぼう！	5 オリジナルアートカルタ をつくろう！－学校編
6 オリジナルアートカルタ をつくろう！－公民館編	7 オリジナルアートカルタ をつくろう！－公民館編	8 鯉のぼりをつくろう！ (子どもの日)	9 鳥取のアーティストをご 紹介！ & アートなカル タとりゲームで遊ぼう！	10 アートなカルタで鳥取 の美術に触れてみよう！
11 前田寛治の 絵を見てみよう	12 版画の楽しみ －みる・つくる	13 アートカルタの読み札 を作ってみよう！	14 我がクラスに 貼る一枚	15 コラージュで 名画を作ってみよう！
16 アートカルタで 鳥取の美術に触れよう& 濱田台兒さんを知ろう！	17 実物大の屏風レプリカで 対話による鑑賞	■	■	■
■	■	■	■	■

館外普及事業

1 ー鳥取の美術入門講座ー
平成 18 年度 「学芸員レクチャー講座」

日時：2006 年 5 月 29 日（月） 八頭町立丹比小学校
6 月 13 日（火） 南部町立南部中学校
9 月 13 日（水） 米子市松蔭高等学校
11 月 29 日（水） 三朝町立西小学校 14:00～15:00
会場：八頭町立丹比小学校、南部町立南部中学校、米子市松蔭高等学校、
三朝町立西小学校



本事業では、鳥取にゆかりの作家の中から、開催校のある地域に関わりがある作家を紹介し、解説した。地元作家を紹介し、絵画のみかたをレクチャーしていくことで、児童のみならず絵の苦手な教師にとっても積極的に図画工作授業を進めるためのよいアプローチになったのではないと思われる。

日時・開催場所：2007年6月22日（金） 三朝町立西小学校
 7月4日（水） 鳥取市立津ノ井小学校
 9月12日（水） 鳥取市立国府東小学校
 10月24日（水） 鳥取市立国府東小学校
 11月14日（水） 倉吉市立鴨川中学校
 12月5日（水） 鳥取市立河原中学校
 2008年1月30日（水） 鳥取市立西中学校
 2月13日（水） 若桜町立若桜中学校



本事業では、学芸員が学校や地域に出向き、主に鳥取県の美術の概要や作家について映像などを用いて解説した。特に小中学校の先生より「地域に関わりのある作家や作品の話が聞ける」と、人気が高まった。

日時：2007年10月28日（日） 9:30～11:30
 会場：鳥取市立遷喬小学校
 対象：第4学年 子ども 23名 保護者 23名 計46名



寝っ転がって輪郭線を描きます

本事業は、第4学年の親子行事として行った。小学4年生ともなると、たとえ日頃生活を共にしていても、親子でじっくりみつめあう機会はそれほど多くないと思われた。そこで、親子で互いの等身像を作成し、制作する中で生まれる新たな発見をとおして信頼関係を深め、今後の学校生活をより有意義なものにすることを目的とした。



完成作品を壁に貼って記念雑詠

—鳥取の美術入門講座—

平成20年度 「とっどりのアーティストをご紹介！ & アートなカルタとりゲームであそぼう！」

日時：2008年10月9日（木） 9:50～11:40 南部町立法勝寺中学校

10月18日（土） 10:00～11:00 浜坂地区公民館

11月26日（水） 10:30～11:45 鳥取市立大正小学校

対象：南部町立法勝寺中学校 第3学年 49名

浜坂地区公民館 子ども 保護者 20名

鳥取市立大正小学校 第5学年、第6学年 計48名



アートなカルタ取りゲーム

本事業では、鳥取県を代表する近代・現代の美術家（もう亡くなった人から、まだ現役の方まで）の簡単なプロフィールと作品を、約40分間スライドショーで紹介した。その後、県立博物館の所蔵作品画像を絵札にした「アート・カルタ」を使って、約20分程度カルタとりあそびを行った。レクチャーとゲームを通して、楽しみながら鳥取のアーティストの活動概要を知り、県立博物館所蔵品を知る機会となった。

—鳥取の美術入門講座—

平成21年度 「オリジナルアートカルタをつくろう！」

日時：2010年1月28日（木）13:55～15:45

開催校：鳥取市立気高中学校

対象：第1学年 計88名

本事業では、「オリジナルアートカルタをつくろう！」と題して、鳥取県を代表する近代・現代の美術家の作品をスライドショーで鑑賞し、オリジナルアートカルタづくりにチャレンジした。その課程で鑑賞活動を行う上で最も重要な言語化（作品に描かれた物を言葉で表現する）の能力を育成することをめらいとした。



完成したオリジナルアートカルタでのゲーム風景



生徒が作成したカルタの読み札

日時：2010年6月10日（日）13：30～15：30

会場：北栄町中央公民館 大栄分館

対象：大人8名・子ども20名 計28名

講座の最初にプレゼンによるアートカルタの解説を行った。映し出される絵や言葉を見ながら、「〇〇みたい。」という声が出てきており、早くつくりたいと思う子どもたちの気持ちが伝わって来た。小学校3年生以下の児童が大半だったため、今回はシートの貼り付け後の切り離し作業はスタッフと三浦、佐藤ですべて行った。切り離し作業の間に読み札を考えてもらったため、時間をかけ、隣の人と感想を言い合いながら読み札をつくる事が出来ていた。カルタ取りゲームでは、大人の方はいろいろな感じ方があるということを確認しながらゲームを楽しんでおられた。子どもたちは純粋に、何枚取るかが興味の中心となったが、言葉をきっかけとして絵を見つめるということは十分できていた。「続きは家で考えような。」といった子ども同士の会話もあり、ワークショップを楽しんでいただけたと感じた。



完成したオリジナルアートカルタの作り方



日時：2010年6月12日（土）10：00～12：00

会場：中ノ郷地区公民館

対象：大人10名 子ども7名 計17名

オリジナルカルタを作って、完成後はゲームを楽しんだ。はじめは、内容が難しそうだととまどっていた参加者も次第に読み札づくりに集中し、楽しんでつくることが出来ていた。ただ小学校低学年の生徒をはじめ、大人であっても、厚紙にシートを貼る作業や厚紙を切り離す作業については困難な方もあり、それが大きなストレスとなってしまっていたので、工程に工夫が必要だと感じた。カルタ取りゲームでは、大人の方はいろいろな感じ方があるということを確認しながら、子どもたちは純粋に、何枚取るかが興味の中心となった。どちらの場合も、言葉をきっかけとして絵を見つめることとなっていた。



オリジナルアートカルタ制作風景



完成したオリジナルアートカルタでゲーム

日時：2011年5月5日（土）10：00～12：00

会場：日吉津村海浜キャンプ場

対象：子ども 50名 保護者 30名 計80名

5月5日のこどもの日に毎年開かれる日吉津村教育委員会主催の「こどもの日祭り」のイベントとして「鯉のぼりづくり」を行った。鯉のぼりの型として、当館所蔵作品である森田光達「遊鯉」、沖休円「鯉滝の図」を用い、屋外での制作・展示を行った。参加者は全く既成の概念にはとらわれず、思い思いの色彩・形・方法で制作していた。作るだけでなく、大山を背景にキャンプ場の芝生の上にロープを渡し、展示したことが参加者の満足感をさらに大きくしていたように思う。館でのWS同様に、家庭では体験できないことが出来てうれしいといった声が多かった。



親子で鯉のぼりづくり



芝生の上に鯉のぼりをあげたよ！

日時：2011年6月21日（火）10：00～11：00

会場：大山町大山公民館

対象：60歳以上 30名

鳥取県を代表する近代・現代の美術家（亡くなった人から、まだ現役の方まで）の「アート・カルタ」を使って、カルタとりあそびを楽しみながら鳥取のアーティストのことを知り、県立博物館所蔵品を知る機会をつくった。大山町という土地柄も考慮し、大山を描いた絵と作家の紹介など特に西部地区に関係の深い作家を中心に紹介した。



伊谷賢蔵《裏大山晩秋》1969年



松田晃八《砂丘》

—鳥取の美術入門講座—

平成23年度 「アートなカルタとりゲームで鳥取の美術にふれてみよう！」

日時：2011年7月10日（日）10：00～11：00

会場：鳥取市立富桑公民館

対象：6名

鳥取県を代表する近代・現代の美術家（亡くなった人から、まだ現役の方まで）の「アート・カルタ」を使って、カルタとりあそびを楽しみながら鳥取のアーティストのことを知り、県立博物館所蔵品を知る機会をつくった。大山町という土地柄も考慮し、大山を描いた絵と作家の紹介など特に西部地区に関係の深い作家を中心に紹介した。



富桑公民館チラシ

—鳥取の美術入門講座—

平成24年度 「前田寛治の絵を見てみよう」

日時：2012年6月21日（木）10：45～15：45

会場：北栄町立北条小学校

対象：第5学年 72名 第6学年 67名 計139名

郷土の作家である前田寛治（1896年～1930年）の絵にふれる機会とするため、前田寛治の作品①《棟梁の家族 1928年》②《静物（花）1929年》③《肖像（引田芳蔵）1920年》の3作品について鑑賞授業を行った。まず、3作品について簡単に説明。（*①については全体像は見せないで、タイトルだけを紹介）その後2つのグループに分かれて、各24ピースずつのパズルを児童に配布し、完成させた。その後、《棟梁の家族 1928年》の画像を鑑賞しながら、見えたものや、気づいたこと、感じたことを発表した。最後に《肖像（引田芳蔵）1920年》の実物の作品に近づいて、マチエールや色の面白さを味わった。鑑賞授業の後半では、油絵の具の質感などを伝えるため、キャンバスに油絵の具で描いたり、絵の具を溶くためのオイルのにおいを嗅いでみたりする体験も行った。



前田寛治 《棟梁の家族》1928年

平成26年度「版画の楽しみーみる・つくる」

日時：2015年2月3日（火）5校時 14時～14時50分

開催校：鳥取市立高草中学校

対象：第1学年4組 24名

授業者：高草中学校 教諭 河本俊顕

本事業では、当館所蔵の野崎信次郎の版画の画像を数点提供した。授業では、抽象的で幾何学的な作品を数多く制作した野崎信次郎の「対話」シリーズを並べて鑑賞し、作品から読み取ったストーリーを交換する内容で対話による鑑賞を行った。次に、「自分の風」と題し、抽象表現の可能性を考えながら、版画の技法を用いて表現した。塩ビ版に塗りつけられた黒の画面をスチレンボード等をヘラのように使ってひっかきながら描いていく「モノタイプ」の技法は、単純だが、線の重ね方や、絵の具を溶く水の量、また型押し等の技法を用いたりすることで多様な表現を生み出していた。

主な
出品
作品

- 野崎信次郎《はばたき》1923年
- 野崎信次郎《白い対話 (M)》1969年
- 野崎信次郎《白い対話 (W)》1969年
- 野崎信次郎《Memory (84-A)》1984年



平成27年度「アートカルタの読み札をつくってみよう！」

日時：2015年6月11日（木）10:50～12:25

開催校：上小鴨小学校

対象：5年生 14名 6年生 11名 計25名

本事業では、アートカルタをきっかけとして、当館所蔵作品に触れ、その後、教室に展示された作品画像の中から気に入ったものを選び読み札を作った。読み札を読み上げ、それがどの作品のものなのかを考える際に、色や形などから作品のもたらしイメージに気づいていった。



アートカルタでゲーム



気に入った作品の読み札をつくってみる

平成 27 年度「我がクラスに飾る一枚」

日時：2015 年 9 月 25 日（金）

開催校：岩美町立岩美中学校

対象：第 1 学年 30 名

授業者：岩美中学校 教諭 岸本一也

本授業は、鳥取の美術に触れさせることを目的に、アートカルタを用い、「自分のクラスに飾る一枚を選択しよう！」という動機づけで行われた。まずクラスを大きく二つの班に分け、アートカルタの絵ふだの中から 1、2 点の候補を選定させる。色彩や形などを自分のクラスのイメージと照らし合わせ、自分なりの美的根拠を持ち選定することを重点に考えさせた。さらにその後、二つの班の意見を聞きあって、最終的に一枚の絵を決定させた。多様な意見を交換しながら、さまざまな視点で作品を鑑賞し、自分一人では持ちえない、新たな美術作品に対する価値観をもたせたいという指導者のねらいがあった。



最終的に選択された作品 《毛利公十六代肖像》作者不詳

平成 27 年度「コラージュで名画をつくってみよう」

日時：2015 年 10 月 10 日（土）10：00～12：00

会場：稲葉山地区公民館

対象：子ども 2 名 大人 11 名 計 13 名

当館所蔵の作品の画像を鑑賞した後、それを参考に使用済みポスターを使ってコラージュする方法で作品を制作した。当初は、鑑賞した作品を模倣すかたちで作品制作をしていただく計画だったが、難しく感じて楽しめない方もあった。そのため、パーツを自由に組み合わせていただく方法も提示したところ、参加者は、ポスターの中の気に入った部分を切り抜き、思い思いに組み合わせて作品を完成させていた。



完成作品



日時：2016年6月10日（金）9:25～11:15

開催校：宝木小学校

対象：第4学年 15名 第5学年 15名 計30名

本事業では、アートカルタや鳥取県立博物館所蔵作品の鑑賞をとおして、美術作品や地域の作家に興味をもち、博物館（美術館）への関心を高める体験を行った。最後に地域でゆかりの作家である濱田台兒の《花容》を鑑賞した。



カルタとりゲーム



濱田台兒《花容》1976年

日時：2016年2月1日（水）14:40～16:40

2016年2月8日（水）14:40～16:40

開催校：鳥取市立青谷中学校

対象：第3学年 62名

授業者：青谷中学校 教諭 河本俊顕

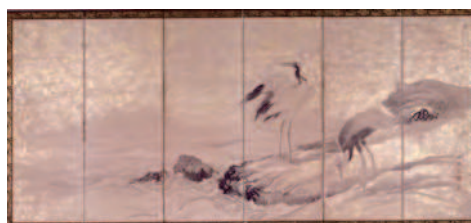
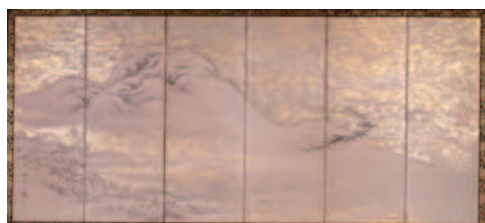
本事業は、エキスパート教員の公開授業及び東部中学校教育研究会美術部会の公開授業に教材を共同で製作する形で関わったもの。屏風『鶴に帰雁図屏風』（土方稻嶺作）の鑑賞に当たって、実物大のレプリカを美術部会の鑑賞に関わる教員と共同制作した。当日は屏風を拓くところから授業がはじまり、描かれているものの形や色などからイメージしたことなどを、対話により伝え合った。



中学校教育研究会美術部会と連携しレプリカを作成



授業風景



土方稻嶺《鶴に帰雁図屏風》

